

[参考8]「信越本線－北陸本線」高速列車の運行継続、拡充の推進について
(新潟県商工会議所連合会要望書)



新潟県知事

泉田裕彦様

**「信越本線－北陸本線」高速列車の
運行継続、拡充の推進について(要望)**

平成21年8月24日

社団法人新潟県商工会議所連合会

会頭 敦井 榮



2014年に上越～糸魚川～富山～金沢間の北陸新幹線が開業されますと、同区間の北陸本線及び直江津以南の信越本線は並行在来線となり、JRの運行体系の見直し等により、「特急北越」等の高速列車の運行が無くなるのではないかと懸念しております。

さらに、「特急北越」等が廃止されますと、長岡～柏崎～直江津～糸魚川区間が高速鉄道網から取り残されることとなり、利便性の著しい低下により交流が減少し、実質的に県土が分断されて上越と中越・下越との一体感が失われることとなり、ひいては新潟県全体の活力低下を招く等様々な悪影響の発生するのではないかと強く憂慮しております。

つきましては、貴殿のマニフェスト「セカンドステージ創・新潟宣言」に「信越本線のミニ新幹線化を含む、一般鉄道高速化等を行うとともに在来線の経営強化について引き続き検討します」との記載がございますが、それらの早期実現に向けて、右事項についてすみやかにご対応下さいますようお願い申し上げます。

1. 北陸新幹線金沢延伸開業後の信越本線－北陸本線の高速列車の維持・拡充について

北陸新幹線開業後も「特急北越」や「快速くびき野」等の高速列車の運行を維持することは新潟県全体の一体感を維持していくためには必要不可欠であることから、これらの維持について関係機関等に対する強い働きかけや県としての必要な対応をお願いいたします。

また、例えば大阪－富山間を運行している「特急サンダーバード」の新潟への延伸等信越本線－北陸本線の高速列車の拡充に向けた活動の展開もお願いいたします。

2. 日本海縦貫高速鉄道交通体系の構築に向けた「ミニ新幹線、フリーゲージトレイン等」の導入について

新潟県の拠点性の強化や県土の均衡ある発展を促進させるためには、東北から新潟・北陸・近畿に至る日本海縦貫高速鉄道交通体系の構築も望まれ、その実現には上越新幹線と北陸新幹線とをミニ新幹線やフリーゲージトレイン等で結び、直通運行を図ることも必要ではないかと考えられますことから、その実現に向けて調査・研究組織を設置し(既存組織の活用も含む)、具体的検討を進めていただきますようお願いいたします。

3. 「上越新幹線直行特急早期実現期成同盟会」の拡充による官民一体となった推進運動の展開について

現在同同盟会の構成範囲は当該信越本線の沿線地域となっておりますが、その実現に向けて、活動をより一層広い範囲として全県的な運動として広げていく必要があることから、会員の構成を拡大する等組織改編を図り官民一体となった推進運動を展開していただきますようお願いいたします。

以上